

セメント試験成績表



太平洋セメント株式会社

2025年(令和7年)12月度 ✓

品質	種類	普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメントB種 JIS R 5211			
		JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密度	g/cm ³	-	3.16	-	-	-	3.14	-	-	-	3.04	-	-
比表面積	cm ² /g	2500以上	3410	57	-	3300以上	4510	65	-	3000以上	3880	53	-
凝結	水量 %	-	27.4	-	-	-	30.1	-	-	-	29.0	-	-
	始発 h-min	60min以上	2-29	-	(1-55)	45min以上	1-52	-	(1-30)	60min以上	3-21	-	(2-20)
	終結 h-min	10h以下	3-29	-	4-10	10h以下	2-54	-	3-30	10h以下	4-39	-	5-45
安定性	パット法	良	良	-	-	良	良	-	-	良	良	-	-
圧縮強さ N/mm ²	1 d	-	-	-	-	10.0以上	24.0	1.86	-	-	-	-	-
	3 d	12.5以上	31.5	1.11	-	20.0以上	47.2	1.61	-	10.0以上	21.0	1.14	-
	7 d	22.5以上	46.2	1.43	-	32.5以上	58.6	1.36	-	17.5以上	35.1	1.27	-
	28d	42.5以上	60.8	1.50	-	47.5以上	70.1	1.40	-	42.5以上	61.2	1.67	-
水和熱 J/g	7 d	-	341	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28d	-	391	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	1.32	-	1.76	5.0以下	1.39	-	1.63	6.0以下	3.27	-	3.65
	三酸化硫黄	3.5以下	2.14	-	2.40	3.5以下	2.96	-	3.25	4.0以下	2.13	-	2.32
	強熱減量	5.0以下	2.36	-	2.68	5.0以下	1.34	-	1.42	5.0以下	1.78	-	2.15
	全アルカリ	0.75以下	0.45	-	0.61	0.75以下	0.41	-	0.53	-	-	-	-
	塩化物イオン	0.035以下	0.018	-	0.025	0.02以下	0.007	-	0.015	-	0.016	-	-

備考

試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
28 d 圧縮強さ及び28 d 水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大値
 普通ポルトランドセメント 0.62% ✓
 早強ポルトランドセメント 0.54%

高炉セメントB種
 ベースセメントの全アルカリ 0.45%
 高炉スラグの分量 40~45%

検査(試験)表の確認	
日付	7年12月10日
検査者	太田
結果	○ 否
日本ハイコン株式会社	

品質者	検査課長	担当
別所		太田
日本ハイコン株式会社		

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 中国支店 技術部

☎730-0811 広島市中区中島町3-25
ニッセイ平和公園ビル 10F

☎ 082-504-8612

コンクリート用膨張材試験成績表

商品名:太平洋エクспан(製品用)

太平洋マテリアル株式会社



区分:膨張材30型

(2025年12月度製造分)

試験項目		JIS A 6202 による規定値	試験値	
化学成分	酸化マグネシウム (%)	5.0 以下	0.6 ✓	
	強熱減量 (%)	3.0 以下	1.3 ✓	
	全アルカリ (%)	0.75 以下	0.20 ✓	
	塩化物イオン (%)	0.05 以下	0.012 ✓	
物理的性質	比表面積 (cm ² /g)	2000 以上	4050 ✓	
	1.2mmふるい残分 (%)	0.5 以下	0.0 ✓	
	凝結 (h-min)	始発	60min 以上	3-10 ✓
		終結	10h 以下	4-15 ✓
	膨張性 (長さ変化率) (%)	材齢 7日	0.025 以上	0.071 ✓
		材齢28日	- 0.015 以上	0.029 ✓
	圧縮強さ (N/mm ²)	材齢 3日	12.5 以上	27.8 ✓
		材齢 7日	22.5 以上	43.2 ✓
材齢28日		42.5 以上	57.2 ✓	

◎ 試験方法は、JIS A 6202 による。

◎ 1.2mmふるいは、JIS Z 8801-1に規定する公称目開き1.18mmの網ふるいである。

◎ 材齢28日の膨張性および圧縮強さは、前回製造月の値を示す。

品管者	検査員長	担当
別所		太田

日本ハイコン株式会社

試験項目		平均値
物理的性質	密度 (g/cm ³)	3.14

◎ 密度試験は、JIS R 5201 による。

お問合せ先: 太平洋マテリアル株式会社 営業本部混和材営業部

〒114-0014 東京都北区田端六丁目1番1号 田端ASUKAタワー15F TEL:03-5832-5218

検査(試験)表の確認	
日付	8年1月9日
検査者	太田
結果	合格・否
日本ハイコン株式会社	

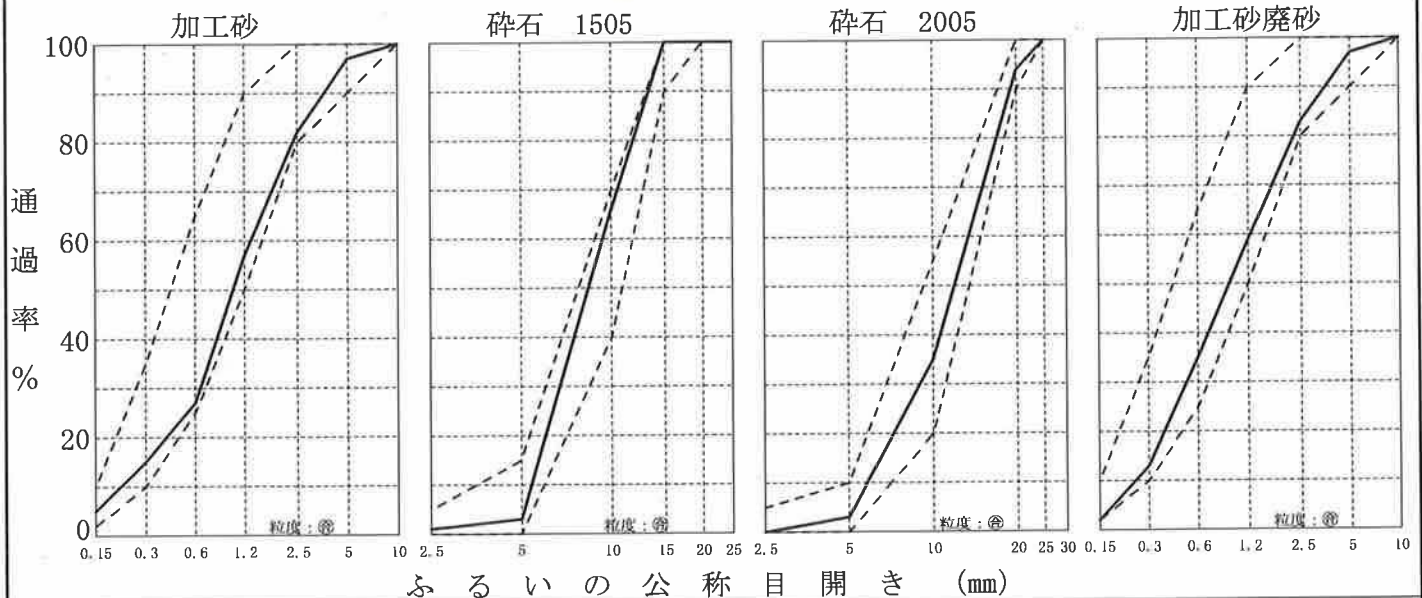
■ 骨材試験成績書 ■

令和 7 年 12 月度

	産地品名	骨材名称	検 印 欄			
骨材①	島根県仁多郡奥出雲町	加工砂	合否判定	所属長	品管者	担 当
骨材②	広島県三次市布野町	砕石 1505	合格	別所	別所	太田
骨材③	岡山県真庭市神代へシ谷	砕石 2005				
骨材④		加工砂磨砂				

試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)				
					ふるい(mm)	加工砂	砕石 1505	砕石 2005	加工砂磨砂
最大寸法(mm)	5	15	20	0.6					
表乾密度 (g/cm ³)	2.57	2.71	2.69	2.95	150				
絶乾密度 (g/cm ³)	2.54	2.70	2.67	2.92	100				
吸水率 (%)	1.25	0.59	0.47	1.09	80				
微粒分量 (%)	1.2	0.4	0.4	1.3	60				
粘土塊量 (%)	0.00	0.03	0.08	0.10	50				
粒形判定実積率 (%)	-	58.7	58.6	60.0	40				
有機不純物 (標準色よりも)	淡い	-	-	-	30				
安定性 (%)	1.8	1.5	9.0	2.6	25		100	100	
塩化物量 (%)	0.001	-	-	-	20		100	94	
すりへり減量 (%)	-	9.9	17.3	-	15		100		
アルカリシリカ反応性	無害	無害	無害	無害	10	100	66	35	100
					5	97	3	3	97
					2.5	82	1	0	83
					1.2	57			59
					0.6	27			35
					0.3	15			13
					0.15	5			2
					粗粒率	3.17	6.30	6.68	3.11

粒 度 曲 線



備考:










品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験
西日本試験所長 西
山口県山陽小野田市



試験名称	骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）												
依頼者	名称：株式会社サンテック 所在地：島根県仁多郡奥出雲町下阿井1766-1												
試験項目	膨張率（長さ変化の測定），外観観察												
試料	産地：島根県仁多郡奥出雲町下阿井 種類：加工砂（花崗岩） 採取日：2025年3月7日 外観写真： 												
	記載事項は、依頼者の提出資料による。												
試験方法	JIS A 1146 [骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）] に従った。 なお、セメントの全アルカリは、 $Na_2O=0.27\%$ 、 $K_2O=0.38\%$ 、 $Na_2O_{eq}=0.52\%$ である。 また、供試体貯蔵容器底面には水を張り、相対湿度95%以上で貯蔵した。												
試験結果	試験項目	材 齢	2週	4週	8週	13週	26週						
	膨 張 率 (%)	1	0.006	0.010	0.010	0.011	0.014						
		2	0.010	0.013	0.014	0.015	0.018						
		3	0.007	0.011	0.015	0.016	0.018						
		平均	0.008	0.011	0.013	0.014	0.017						
外観観察	異状なし												
判定	無 害												
試験期間	2025年 3月11日～ 9月25日												
担当者	試験課長 矢 埜 和 彦 松原 竜馬（主担当） 杉原 大 祐						<table border="1"> <tr> <td>品管者</td> <td>検査課長</td> <td>担 当</td> </tr> <tr> <td>承認</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	品管者	検査課長	担 当	承認		
品管者	検査課長	担 当											
承認													
試験場所	西日本試験所（山口県山陽小野田市大字山川）						日本ハイコン株式会社						

以上

本試験の結果は、提出された試料（試験体）のみに関するものである。
試験所長の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部分のみを複製してはならない。

副本

骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）報告書



【認定番号 第53号】

〒700-0943

岡山県岡山市南区新福一丁目21番37号

一般社団法人 岡山県コンクリート技術センター

TEL:086(264)6374 FAX:086(264)6879

承認署名者 所長 加藤 美千夫



株式会社 マルケイ 殿

試験品目に関する説明【顧客申請事項】

顧客の名称	株式会社 マルケイ
連絡先	岡山県真庭市江川846
試料の種類	砕石 2005
岩石名	硬質砂岩
産地	真庭市神代ヘシ谷地内
採取日	2025年2月3日
採取場所	真庭市神代ヘシ谷地内
備考	—

試験結果【試験所証明事項】

受付年月日	2025年2月4日					
識別番号	M240028					
試験終了日	2025年8月20日					
試験場所	一般社団法人岡山県コンクリート技術センター試験室					
試験方法	JIS A 1146:2022					
モルタルの配合	使用材料	セメント	600 g			
		骨材	1350 g			
		水+NaOH	300 mL			
	使用した普通ポルトランドセメント[一般社団法人セメント協会研究所]の全アルカリ量はNa ₂ O _{eq} =0.52%である。					
湿度95%以上を確保した手段	恒温恒湿槽にて吸取紙による被覆, 容器底面の水張りをおこなった。					
試験結果	(1) 供試体の膨張率 %					
		2週	4週	8週	13週	26週
	1	0.007	0.009	0.013	0.015	0.020
	2	0.007	0.010	0.013	0.015	0.021
	3	0.007	0.009	0.012	0.014	0.020
	平均	0.007	0.009	0.013	0.015	0.020
	(2) 供試体の外観観察					
		2週	4週	8週	13週	26週
		異常無し	異常無し	異常無し	異常無し	異常無し
判定	無害 ✓					
	判定基準:3本の平均膨張率が, 26週後に0.100%未満の場合は無害とする。					

■本報告書は、顧客が採取し顧客が持ち込んだ試験品目に対する結果を示すもので承認
 ■当センターの事前承認なしに、この報告書の一部分だけを複製して用いることは禁じられています。

品質管理	検査課長	担当
認	所	大田

【 副 本 】

骨材のアルカリシリカ反応性（化学法）試験結果報告書

岩倉産業株式会社 殿

依頼者申請事項

依頼者 岩倉産業株式会社
住所 広島県三次市布野町下布野 462-3
試験品目 粗骨材
骨材種類 碎石 2005
最大寸法 20 mm
産地 広島県三次市布野町下布野 643-1
岩種 安山岩
試料採取日 2025年5月20日
試料採取場所 岩倉産業 碎石場 スtockヤード
試料採取 代表試料約 40kg を縮分し、約 20kg とした。

試験結果は次のとおりであることを証明します。

2025年6月4日

広島市西区草津南二十丁目番十二号
広島地区生コンクリート協同組合 共同試験場
承認署名者・場長 奈切 慎

試験依頼日・受領日 2025年5月20日

試験品目 粗骨材
識別番号 25344
受入方法 持込み（持込み者：岩倉産業株式会社）
受入状態 土のう（約 20 kg）×1袋

試験方法 JIS A 1145：2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）
溶解シリカ量の定量方法 原子吸光光度法

試験期間 2025年5月26日～2025年6月4日

試験場所 試験室

試験結果

項目	1	2	3	平均	判定結果
アルカリ濃度減少量(Rc) mmol/L	48	45	48	47	無害✓
溶解シリカ量(Sc) mmol/L	30	29	28	29	

判定基準

- 溶解シリカ量(Sc)が 10mmol/L 以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を“無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を“無害でない”と判定する。
- 溶解シリカ量(Sc)が 10mmol/L 未満でアルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 未満の場合、その骨材を“無害”と判定する。
- アルカリ濃度減少量(Rc)が 700mmol/L 以上の場合は判定しない。

	品管者	検査課長	担当
承認	別所		太田

日本ハイコン株式会社

以上



試験番号 A-25-5-0026 1/2

受付日 令和 7 年 5 月 19 日

発行日 令和 7 年 11 月 27 日

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

【モルタルバー法】

JNLA登録試験事業者

ベルテクス株式会社 試験分析センター

福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地

TEL:0778-62-1000 FAX:0778-62-7723

発行責任者 センター長 小林 宏成

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

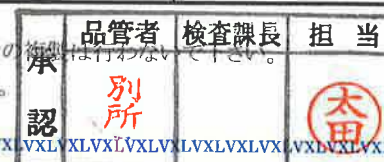
依頼者	会社名	日本ハイコン株式会社					
	所在地	鳥取県米子市彦名町4500番地					
試験日	令和 7 年 5 月 28 日 ~ 令和 7 年 11 月 26 日						
試料	種類 (岩種)	鋳物廃砂(5%) 加工砂(95%)	産地	鳥取県米子市彦名町			
	採取日	令和 7 年 5 月 13 日	搬入日	令和 7 年 5 月 19 日			
	採取場所	日本ハイコン株式会社	採取者	池野 悟			
試験方法	JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。 ※試験に用いたセメント 種別 : 普通ポルトランドセメント 製造会社名 : 社団法人 セメント協会 酸化ナトリウム(Na ₂ O) : 0.27 % 酸化カリウム(K ₂ O) : 0.38 % 全アルカリ量 : 0.52 % ※水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %						
試験実施場所	ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地						
試験結果	モルタルバー法による試験体の膨張率 単位:%						
	供試体番号	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週
	1	—	0.014	0.018	0.019	0.021	0.022
	2	—	0.016	0.019	0.020	0.022	0.023
	3	—	0.017	0.020	0.021	0.023	0.023
	平均値	0.000	0.016	0.019	0.020	0.022	0.023
	外観観察結果	—	良	良	良	良	良
判定基準	① 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%未満の場合 : 無害 ② 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%以上の場合 : 無害でない ※備考 材齢13週後に0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で“無害でない” としてもよい。その場合、26週の測定を省略できる。材齢13週で0.050%未満の場合は26 週まで試験を続けた後に判定しなければならない。						
判定	無 害						
備考	「JIS A 5005 5.6 アルカリシリカ反応性」に基づき、本試験結果は、同一原石により製造された 砕石および砕砂に用いることが出来る。 ※モルタルバー法による膨張率を裏面に示す。						

<本書の取扱いについて>

- ・本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・本書の内容を転載する場合は、文書により事前に本所の承認を得るようして下さい。

技術管理者 榎田 直也

試験担当者 江指 尚美




日本ハイコン株式会社

品質性能試験報告書



一般財団法人 建材試験
西日本試験所長 白
山口県山陽小野田市



試験名称	骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）						
依頼者	名称：鳥取県コンクリート製品協同組合 所在地：鳥取県倉吉市巖城12 中部建設会館2階						
試験項目	膨張率（長さ変化の測定），外観観察						
試料	産地：鳥取県米子市富益町88番地1 種類：鋳物廃砂 採取日：2024年9月12日 外観写真： 						
	備考：採取場所；米子製鋼株式会社 記載事項は、依頼者の提出資料による。						
試験方法	JIS A 1146 [骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（モルタルバー法）] に従った。 なお、セメントの全アルカリは、 $\text{Na}_2\text{O}=0.27\%$ 、 $\text{K}_2\text{O}=0.38\%$ 、 $\text{Na}_2\text{O}_{\text{eq}}=0.52\%$ である。 また、供試体貯蔵容器底面には水を張り、相対湿度95%以上で貯蔵した。						
試験結果	試験項目	材 齢	2週	4週	8週	13週	26週
	膨 張 率 (%)	1	0.256	0.317	0.415	0.432	0.505
		2	0.264	0.348	0.419	0.469	0.520
		3	0.231	0.330	0.392	0.420	0.493
		平 均	0.250	0.332	0.409	0.440	0.506
外 観 観 察	白色の斑点及びひび割れが認められた。						
判 定	無害でない						
試験期間	2024年 9月26日～2025年 4月18日						
担当者	試験課長 矢 埜 和 彦 松原 竜馬（主担当） 杉原 大 祐						
試験場所	西日本試験所（山口県山陽小野田市大字山川）						

以上

(JIS A 6204)

683-0854

鳥取県米子市

彦名町 4 5 0 0

日本ハイコン株式会社

検査(試験)表の確認	
日付	2025年7月7日
検査者	太田
結果	合・否
日本ハイコン株式会社	



機能材料事業部
 東京: 〒131-8501 東京都葛飾区文花 1-3-3
 TEL. 03-5631-7100
 大阪: 〒550-0012 大阪市西区立売堀 1-4-1
 TEL. 06-6533-7433

093660 - 440124

種類 高性能減水剤 I種 ✓
 商品 マイテイ 21LV ✓

承認	品管者	検査課長	担当
	別所		太田

日本ハイコン株式会社

1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュ コンクリート	減水率 %	12 以上	14 ✓	14 ✓	
	ブリーディング量の比 %	-	-	-	
	ブリーディング量の差 cm ³ /cm ²	-	-	-	
	凝結時間の差 分	始発	+90 以下	0 ✓	-10 ✓
		終結	+90 以下	0 ✓	0 ✓
経時変化量	スランプ cm	-	-	-	
	空気量 %	-	-	-	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢 1 日	-	-	
		材齢 2 日 (5℃)	-	-	
		材齢 7 日	115 以上	141 ✓	152 ✓
		材齢 28 日	110 以上	131 ✓	144 ✓
	長さ変化比 %	110 以下	90 ✓	-	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		-	-	-	

- 注記 1. 1m³当たりの化学混和剤の使用量
 形式評価試験 2.07 kg/m³, 性能確認試験 2.07 kg/m³
- 注記 2. 性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し、この表に表示している試験値は、2025 年 6 月の試験結果である。ただし、圧縮強度の性能確認試験は 1 年に 1 回実施し、この表に表示している試験値は、2025 年 6 月の試験結果である。
- 注記 3. この表に表示している形式評価試験は、2020 年 6 月に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン (Cl-) 量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204 に よる規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中 の含有量	1 m ³ 当たりの化学 混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン (Cl-) 量	0.02 kg/m ³ 以下	0.00 kg/m ³	0.00 %	2.07 kg/m ³	0.00 kg/m ³
全アルカリ量	0.30 kg/m ³ 以下	0.02 kg/m ³	0.8 %	2.07 kg/m ³	0.02 kg/m ³

- 注記 1. 性能確認試験は 6 か月ごとに 1 回実施し、この表に表示している試験値は、2025 年 6 月の試験結果である。
- 注記 2. この表に表示している形式評価試験は、2020 年 6 月に 花王株式会社 で実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm ³ 20℃)	1.030 ~ 1.070 g/cm ³	1.049 g/cm ³

注記. この表に表示している試験値は、2025 年 6 月の試験結果である。

